

(2) 前回運営諮問会議のフォローアップ報告

第3回運営諮問会議の各委員の意見に対する対応

指 摘 事 項 等	対 応 状 況
<p>1. キャリア教育の現状と充実策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業生への継続的なフォロー ○ 進路指導法 <p style="text-align: right;">(学生主事)</p>	<p>各学科で個別に対応している。学校全体としての統一的フォローについては検討中である。</p> <p>キャリア教育プラザを整備した。これの有効活用を図り低学年からキャリア意識の向上を図りたい。</p>
<p>2. 国際交流の現状と推進方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際交流の充実 ○ 留学生受入先と渡航先 ○ 第2外国語としてのドイツ語のあり方 <p style="text-align: right;">(国際交流推進室長)</p>	<p>オーストラリアのサザンクロス大学との交流協定を締結し、学生及び教職員の交流、研究交流等の分野で協力体制を整備した。</p> <p>第2外国語として、平成18年度より中国語も選択できるようになった。また、専攻科の科目である「独語演習書講読」は、ヨーロッパ文化論という一般教養科目に変更した。</p>
<p>3. J A B E Eプログラムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 専攻科修了生が有すべきレベルの設定及び厳密な成績評価の実施 <p style="text-align: right;">(専攻科長)</p>	<p>生物応用化学プログラムでは「レビュー室」を設置し、試験問題が到達目標をチェックするものになっているか、シラバス通りの成績評価が行われているかどうかを主要科目について定期的にチェックし、科目担当者にフィードバックする体制を整えた。他専攻についても、生物応用化学科の取組等を参考に検討中である。</p>
<p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学生指導 <p style="text-align: right;">(学生主事)</p>	<p>全教員による輪番での校内外巡回を実施し、その都度、全教職員にメールで状況を報告し、教職員全体の学生指導に対する意識向上を図っている。</p>